

注意障害を含めた半側空間無視症状に関し 症例を通じ理解を深める

講師 大松 聡子先生 国立障害者リハビリテーションセンター

日時 2019年4月27日(土) 14:00~17:00 (受付 13:30~)

※途中休憩あり

会場 武雄看護リハビリテーション学校

佐賀県武雄市武雄町大字富岡 12623 番地

※駐車場が限られていますので、公共交通機関の利用もしくはお車の場合は
乗り合わせのうえ、ご参加ください。

定員 100名 (会員優先 定員に達した時点で受付を終了させていただきます、ご了承ください)

参加費 SAOT 会員の方：1,000円、SAOT 会員外・他専門職の方：2,000円

学生：500円

申し込み要綱

件名に「SAOT 特別講演参加申込」と記載頂き、①所属(病院名)、②氏名、③職種名、④連絡先電話番号、⑤(OTの方のみ)SAOT 会員か否かを必ず入力しメールにてお申し込みください。

※なお、申し込み受理の有無をメールにて返信いたします。

下記メールアドレスのドメイン指定解除をお願い致します。

締切：2019年4月25日(木)

申し込みアドレス：t-reha@shintakeo-hp.or.jp

問い合わせ先 *メールによる問い合わせのみ受付致します。

SAOT 勉強会事務局 担当：古川 和裕 (新武雄病院リハビリテーション科)

メールアドレス：t-reha@shintakeo-hp.or.jp

講師 略歴

【経歴】

- 2008年 広島大学医学部保健学科卒業 作業療法士免許取得
2008年 おおくまりハビリテーション病院（現はくほう会セントラル病院） 勤務
2010年 穂翔会村田病院 勤務
2013年 畿央大学大学院修士課程修了
2017年 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 勤務
2019年 畿央大学大学院博士課程修了

約10年間臨床現場で脳血管疾患に対するリハビリテーションに携わり、2017年から国立障害者リハビリテーションセンター研究所に勤務。脳卒中後に生じる半側空間無視症状や付随する症状、病態の理解を通じ、症状の定量的評価および機能回復のためのリハビリテーション方法の構築を目指されています。

【論文】

- 1) Ohmatsu S, Takamura Y, Fujii S, Tanaka K, Morioka S, Kawashima N. Cortex 14(1):113-83-95, 2018
- 2) Tani M, Ono Y, Matsubara M, Ohmatsu S, Yukawa Y, Kohno M, Tominaga T. Neuroscience research 133(1): 7-14, 2018
- 3) 大松聡子, 高村優作, 今西麻帆, 森岡周, 河島則天 半側空間無視の病態基盤を考慮した臨床評価 理学療法ジャーナル 51 (10): 865-874, 2017
- 4) Takamura Y, Imanishi M, Osaka M, Ohmatsu S, Tominaga T, Yamanaka K, Morioka S, Kawashima N. Reply: The difference between compensation, and mechanism-specific spatial recovery. Brain 140(4): e23, 2017
- 5) Takamura Y, Imanishi M, Osaka M, Ohmatsu S, Tominaga T, Yamanaka K, Morioka S, Kawashima N. Intentional gaze shift to neglected space: a compensatory strategy during recovery process after unilateral spatial neglect. Brain 139 (11): 2970-2982, 2016
- 6) 赤口涼, 大松聡子, 河島則天, 奥埜博之. 著明な右空間への視線偏向を呈した半側空間無視症例の介入経験—無視症状の改善プロセスに連動した姿勢制御へのアプローチ—. 認知神経リハビリテーション 16(1): 909-920, 2016
- 7) Ogawa T, Omon K, Yuda T, Ishigaki T, Imai R, Ohmatsu S, Morioka S. Short-term effects of goal-setting focusing on the life goal concept on subjective well-being and treatment engagement in subacute inpatients: a quasi-randomized controlled trial. Clin Rehabil 30(9): 909-20, 2016
- 8) Nakai H, Tsujimoto K, Fuchigami T, Ohmatsu S, Osumi M, Nakano H, Fukui M, Morioka S. Effect of anticipation triggered by a prior dyspnea experience on brain activity. J Phys Ther Sci 27(3):635-9, 2015
- 9) Ohmatsu S, Nakano H, Tominaga T, Terakawa Y, Murata T, Morioka S. Activation of the serotonergic system by pedaling exercise changes anterior cingulate cortex activity and improves negative emotion. Behav Brain Res 15(270):112-7, 2014

【その他】

- 2018年9月 第22回 視覚科学フォーラム 優秀発表賞
 - 2011年～日本作業療法士協会 学会演題審査委員、2015年～認知神経リハビリテーション学会 評議委員
- ※その他ご講演、セミナー等多数